

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>・理念に基づいたケアを目標にし日々取り組んでおります。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>・日頃から職員に呼びかけ理念を目標に取り組んでおります。また、定期的にミーティングで理念や組織について内部研修を行っております。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>・地域交流や運営推進会議などを行い理解して頂けるように取り組んでおります。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>・近所の方がボランティアで2ヶ月に1回人形作りに来てくれております。また、散歩に行くと近所の方から挨拶して下さっております。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>・地域交流として、畑の苗植え・収穫、町内清掃の他、運営推進会議でも交流を深めております。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>・運営推進会議で協力できることはないかを呼びかけたり、冬季間は近隣の方と協力し除雪を行っております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>・自己評価や外部評価の際には必ず職員に説明し理解した上で取り組んでおります。新しい職員には都度説明し理解し改善にも取り組んでおります。</p>		
8	<p>○運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>・話し合いを行い、改善すべき点は素早く取り組みサービスの向上や改善に取り組んでおります。(前回会議では後期高齢者制度について)</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>・月に1度、西区の管理者会議に出席し区役所の職員と連携を図っております。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>・学ぶ機会が無く行っておりません。</p>	○	<p>・研修会への参加や運営推進会議で包括センターへ依頼し説明をしてもらうなど考えております。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p> <p>・ミーティングや日々の職員との会話で虐待についての説明を行ったり、話し合いを行い防止に努めております。又マニュアルも作成しいつでも見られるようにしております。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>・契約を結ぶ際に十分な説明、重要事項説明書などの交付を必ず行い実施しております。又事前に解約についての説明も十分に行っております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・苦情窓口を設け、管理者・職員共に意見・不満・苦情をいつも話せるようにコミュニケーションを図り傾聴の場を設けております。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	・毎月ホーム便りの発行、お小遣い出納簿を発行しております。又入居者様に急変や薬の変更、新しく病院を受診する際などすみやかに連絡を行い報告しております。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・家族の意見を聞き運営に反映できるように取り組んでおります。又苦情BOXの設置や第三者機関を設けております。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・1ヶ月に1回は必ずミーティングを行っております。日々の中でも何かあれば都度連絡し話し合いを行っております。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	・出来る限り要望に合わせてシフトの作成、変更を行っております。又連絡網を作成し対応しております。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	・職員同士コミュニケーションを図り信頼関係を深め、楽しく・明るく・元気に働けるような環境を作れるように努力しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・外部研修への参加や日々のケアの中で指導を行い職員のスキルアップに努めております。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>・管理者研修、外部研修に月に1回は参加し質の向上に努めております。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>・日々話し合いを持ったり、おいしい物を食べたり、旅行に行ったりとストレスの軽減をはかっております。</p>	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>・理念について話し合いを行い向上心を持って働けるように努めております。 ・個々に合わせた仕事、役割を持って働けるように努めております。 ・資格取得に各自で取り組んでおります。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>・コミュニケーションを大切にし個々の生活を出来る限り崩さないように努め、信頼関係を築くように努めております。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>・ご家族や、ご本人と十分話し合いを行い信頼関係を築くように努めております。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・ご本人、ご家族の話を傾聴し、どんな事に不安や疑問を感じているのかを話し合いケアプランに反映し必要とする支援を提供できるように心掛けております。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	・入居前にはご本人様にも見学していただき、ご家族様にも十分話し合いを行い入居できるように努めております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	・入居者様をいつも「自分の親だったら」「自分だったら」と、相手の気持ちを考えて共に過ごしております。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	・常にコミュニケーションを取り入居者様の状態を把握しご家族様に報告し、共に支えあえる関係作りをしております。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	・入居者様よりご家族の事を聞くと共に相談し理解していただけるように努めております。また、ご家族様からの要望があった場合は傾聴し関係が築けるように支援しております。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・身元を確認した上での面会や手紙を書いたり友人・知人を大切にしてください。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・入居者様同士話をしたり、レクリエーションなどで楽しく過ごさせております。入居者間でのトラブルが無いように関係を十分に把握し対応させていただいております。トラブルが起こりそうな時は職員が仲介に入るようにしております。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	・必要に応じて良い関係を続けられるように付き合いを大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・毎日の会話の中から希望などをお聞きしケース記録や連絡ノートに記入し職員間で情報を共有できるようにしております。困難な希望や思いが伝えられない方にはなるべく近いものを提供し、その人らしく生活できるように支援しております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・入居前にはご本人、ご家族から十分にアセスメントを行い個々の情報を把握しております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	・一人ひとりの体調に合わせた役割や場面を作れるように日々の暮らしの中で個々のペースを把握するように努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	・月に1度カンファレンスを行いモニタリングを行っております。ケアプランもご本人、ご家族の要望を聞き話し合ったうえで作成しております。 ・担当者を決め身体状況、精神状況、ニーズの把握をしてカンファレンスで意見交換を行いプランの作成に努めております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	・毎月のカンファレンスの際に変更事項が無いか随時確認を行い、最低でも3ヶ月に1度は新プランを作成しております。完成したケアプランは毎月ご家族に送付し了承の意味も込めサインを頂いております。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	・日々の出来事やちょっとした会話の内容を個別に記録し共用できるようになっております。また、日常の会話の中から得られる情報を十分に活用しながらケアを進めております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	・柔軟な支援(外出など)さまざまな支援を行っております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	・本人の意向や必要性に応じて民生委員やボランティアなどと協力しながら支援しております。(2ヶ月に1度の人形作りボランティア、ホームの行事の参加)		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	・現状ではそのような必要がありませんので行っておりません。	○	・必要があれば行っていきたいと思っております。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	・権利擁護やケアマネジメントをすることはありませんでした。	○	・運営推進会議を利用し地域包括支援センターと協働していきたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	・看護師が週に1回勤務に入り対応しております。また、それぞれの入居者様の担当医には、2週間に1度、月に1度は定期受診、往診に来られております。急変時にもすぐに対応できるようにしております。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	・認知症に詳しい医師と連絡を築き治療を受けられるように支援しております。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	・他事業所との兼務ですが、週に1度は看護師が勤務しております。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	・情報交換を行い、早期に退院できるように努めております。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	・医療連携指針を作成し終末期のあり方についてご家族様に説明させて頂いております。また、かかりつけ医との連携を図っております。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	・重度化の変化に備えかかりつけ医とも相談し検討や準備を十分に行っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>・本人の事を考え、精神的なダメージを少しでも軽減できるように努めております。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>・言葉掛けには十分配慮し行っております。 ・昨年指導を受けた面会簿も個別化にし、記録なども個別に作成し外部に漏れないように十分注意しております。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>・個別に声掛けの工夫を行ったり、意向を本人に確認するなど自己決定が出来るように努めております。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>・業務が中心になりがちですが、個々のペースを大切に希望に添ってケアできるように努めております。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>・定期的に美容室、理容室に行ったり、買い物に行ったりとお洒落を楽しめるように努めております。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>・野菜切り、盛り付け、テーブル拭きなど個々の力を生かせるように職員と共に食事の準備、片付けを行っております。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	・現在は酒、タバコなどを飲んでいる方はいないが、検査結果やDrに相談をした上で体調に十分に気をつけながら個々に合わせた対応を行っております。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	・日頃から観察は行っていますが、最低でも半年に1度は排泄パターンの変化が無いかを確認しています。個々の排泄パターンを把握し失敗が少なくなるように時間を見ながら声掛けや誘導を行っております。オムツの使用も行っておりません。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	・週に2回以上は入浴して頂いております。また、希望や個々の体調に合わせて対応しております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	・個々の体力や年齢に合わせて、寝たきりにならないように気持ちを配慮しながら対応しております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	・それぞれの出来ることを積極的に楽しく、笑顔で行えるように支援しております。 ・外出の機会を増やし楽しみや気分転換出来るように配慮しております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・ご本人の希望を聞き、自己管理できる方は現金を持ってもらっております。管理が必要な方は使用時に援助し使用しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	・レクを行う際には行きたい場所を聞いたりし、希望により職員と共に外出して頂いております。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	・外出してみたいところの希望を聞き行事として取り入れております。(カラオケ、自分の生まれ育った場所、家族の住んでいるところ等)		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・手紙を出す支援や電話を掛けたいと希望がある方には対応させて頂いております。ご自分の携帯電話を持っている方もいらっしゃいます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	・玄関には花を置いたり、壁掛けを飾ったり、掃除をまめにを行い環境整備にも注意し、家庭的で入りやすいように工夫しております。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・身体拘束を行わないように全職員が理解しケアを行っております。資料も見やすいように用意しております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	・アコーディオンカーテンやチャイムの設置により鍵を掛けないように工夫しておりますが、入居者様が外に出してしまう危険性を考え鍵を閉めている。	○	・防犯や危険だと判断したとき以外は施錠しないように職員で話し合い実践します。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	・プライバシーに配慮しながら、個々の行動をしっかり把握し安全が守られるように、事故がおきないように十分気をつけております。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	・ご本人で管理できない方については職員が見守りのもと使用していただいたり、保管しております。管理できる方については、自己管理されておりますが、注意しております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	・個々の入居者様の行動パターン、身体状況を把握し事故につながらないように注意しております。職員については声掛けを行い事故が無いようにし、日々指導しております。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	・年に2回避難訓練や応急救護を学んでおります。また、マニュアルも作成しております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	・マニュアルの作成や避難訓練、地域への協力などには取り組んでおりますが、日常的には行えておりません。	○	・定期的を確認しあい、緊急時に対応できるように取り組みます。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	・現状の状況の説明と共に今後起こりうることなどを話しております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	・日々のバイタルチェックや表情、様子など変化に気をつけております。変化があった場合は口答や連絡ノートを使用し全職員が情報を把握し対応しております。また、Drとの協力体制も出来ております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	・薬には朝・昼・夕・就寝ごとに色分けし、日付・名前の記入を行い、誤薬が無いように職員2名で内服の確認を行っております。 ・薬の内容については処方箋を確認しております。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	・排便チェック表の記入を行い、間隔を把握し体操や歩行運動などで便秘予防に努めております。また、水分補給や食べ物の工夫を行っております。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	・毎食後口腔洗浄、歯磨きを行っております。就寝時には洗浄剤につけて清潔保持に努めております。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	・栄養士による献立・カロリー計算によりバランス良く食事をして頂いております。水分については1000～1200mlを目安に摂取されておりますが、チェックが必要な方には表を作成し水分摂取の支援を行っております。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・感染症のマニュアルを作成しインフルエンザの予防接種やノロウイルス対策として定期的なタオル交換、消毒を行っております。また、職員は出勤時に必ず手洗い、うがいを行っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	・衛生管理簿を作成し毎日チェックし全職員が把握できるようにしております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	・町内のゴミ掃除や定期的なゴミ拾いを行い建物周囲はいつもきれいにできるように心がけております。玄関周りも庭に花を植えたり、鉢植えを置き明るくするようにしております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・季節の花を飾ったり、カレンダーの作成、季節による飾りつけなどで気持ちが穏やかに明るくなるように工夫しております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・玄関にソファを置いたり、居間にも大小のソファ、一人がけの椅子を置き個々が自由にゆっくり過ごせるようにしております。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・馴染みの家具やご家族の写真などご本人が安心して過ごせる居室にしております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	・空気の入替えや空気清浄機を使用しております。また、季節により扇風機、加湿器、温湿度計の設置によりチェックしております。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	・手すりや昇降機が設置されております。安全に歩行が出来るように廊下には物を置かないように十分気をつけて対応しております。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	・本人が出来ることは職員がすぐに手をかすのではなく、見守りし混乱することの無いようにコミュニケーションを日頃から取り安心して過ごしていただけるように努めております。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	・天気の良い日は外でのラジオ体操や畑の水やり、町内の散歩と楽しく過ごせるように勤めております。		

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	①

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

・運営理念を目標に入居者様の事を「自分の親だったら」「自分だったら」と考え日々ケアを行っております。入居者様と共に掃除、料理を日々行っておりますが、同じ事の繰り返しではなく外出を多く取り入れ、泊りでの旅行にも行かれ、皆様楽しまれております。「できること」は積極的に行っていただきADLの維持、筋力の低下防止に努め安心し、楽しく、活気のある生活をしていただけるように支援しております。